

# 特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構

## 2020年度（第7期）第1回理事会議事録

日 時：2020年11月4日（水）9:30～10:50

場 所：ZoomによるWeb開催

出席者（敬称略）

理 事：高井 伸二、堀内 基広、小川 晴子、落合 謙爾、堀 正敏、柴田  
秀史、志水 泰武、岡田 利也、佐藤 晃一、日高 勇一、三角 一浩、寺岡  
宏樹、村上 賢、森友 忠昭、小山秀一、吉川 泰弘（欠席：霜村 典宏）

理事代理：竹内 崇

監 事：稲葉 睦、田中 良和

事務局：宮田 桂司、伊藤 茂男

上記の理事の出席があったので、定款の規定により理事長 高井 伸二は本理事会の開会を宣言し、議事の審議に入った。

### 審議事項

第1号議案 2019年度（第6期）事業報告及び決算に関する件

第2号議案 2020年度（第7期）事業計画及び予算に関する件

第3号議案 2021年度（機構2020年度）の大学特別会費に関する件

第4号議案 2021年獣医学共用試験日程に関する件

第5号議案 2021年獣医学共用試験における学外関係者の共用試験センターからの派遣方針に関する件

第6号議案 日本獣医師会からの提案に関する件

第7号議案 ソーシャル・メディア・ポリシー策定に関する件

第8号議案 実習事業（春期VPcamp）に関する件

### 審議結果

第1号議案 2019年度（第6期）事業報告及び決算に関する件

2019年度（第6期）事業報告書及び同決算報告書に示した2019年度（第6期）事業報告及び決算案を総会に付議することが全員一致で承認された。

第2号議案 2020年度（第7期）事業計画及び予算に関する件

2020年度（第7期）事業として同事業計画案を総会に付議することが承認された。

2020年度（第7期）活動予算案に関しては、大筋では承認されたが、赤字予算（約200万円）を組むことは望ましくないこと、並びに、事業費収入としての受験料収入は定員数ではなく実際に共用試験を受ける学生数で予算化することが筋であることが指摘された。共用試験の受験予定者の実数で予算化した場合、赤字予算は解消される見込みであることから、今期の活動予算案を受験予定者の実数で計上するよう修正した後、再度、理事会に諮ることとなった。

### 第3号議案 2021年度（機構2020年度）の大学特別会費に関する件

2021年度（機構2020年度）の大学特別会費として、昨年度と同額（固定費30万円、及び学生一人当たり5千円の定員分）を特別会費として徴収することが承認された。

### 第4号議案 2021年獣医学共用試験日程に関する件

各大学の要望をもとに事務局で調整した2021年の共用試験日程案が承認された。なお、本年B日程大学の共用試験と同様に、COVID-19等の影響がある場合には、大学の事情に合わせて、随時、変更する。

### 第5号議案 2021年獣医学共用試験における学外関係者の共用試験センターからの派遣方針に関する件

2020年B日程大学の共用試験はCOVID-19の影響を受け、学外関係者（全体評価者、イーコミュニケーションズ担当者、医療面接外部評価委員及び標準クライアント）の共用試験センターからの派遣は全て中止となった。

2021年の共用試験（A日程大学）では、COVID-19の状況、共用試験学外関係者の派遣元及び派遣先大学の状況を考慮し、共用試験センター運営連絡協議会で決定した『CBT/OSCEともに全体評価者は派遣するが、その他の学外関係者であるイーコミュニケーションズ、医療面接外部評価委員及び標準クライアントは派遣しない』という方針が承認された。

なお、2021年のB日程大学に関しては、COVID-19の感染状況等をあらためて検証し、2021年2月頃に派遣方針を決定する予定である。

### 第6号議案 日本獣医師会からの提案に関する件

獣医学実践教育推進協議会における協議の結果を踏まえ、日本獣医師会からご提案頂いた「Student Doctor 認定証の発行費用の負担、並びに共用試験合格者への卒業時までの日本獣医師会雑誌の配布」に関して、承認された。

## 第7号議案 ソーシャル・メディア・ポリシー策定に関する件

Twitter、Facebook、Instagramなどのソーシャルメディアと、当機構ウェブサイトとを連携することにより、当機構の取組みや事業等に関する情報を発信し、利用者が当機構に対する理解を深め、関心を高めることを目的として策定した『ソーシャル・メディア・ポリシー』、および本ポリシーをWeb公開することが承認された。

## 第8号議案 実習事業（春期 VPcamp）に関する件

今年度の夏期臨床実習（公衆衛生及び家畜衛生分野のVPcamp、並びに産業動物臨床分野のVFap）はCOVID-19の影響で全て中止となったが、多くの大学で対面授業が実施されるようになり、都道府県を越えた移動の自粛制限も無くなり、COVID-19の状況は落ち着いてきた。一方、今年の春期VPcampをお引受け頂いた約60機関のうち、多くは条件付きであるが約20機関からは受け入れ可能との回答を得ている。

以上の状況を鑑み、実習推進統括委員会で決定した『VPcamp春期実習の実施は困難な状況であるが、学生にとっては貴重な機会であることから、可能な限り実習事業を実施する』という提案が審議され、承認された。

2020年11月20日

特定非営利活動法人獣医系大学間獣医学教育支援機構理事会

議長 高井 伸二



議事録署名人 佐藤 晃一



議事録署名人 森友 忠昭

